

株式会社 アビラ 斑尾高原スキー場

索道安全報告書

令和元年10月～令和2年9月



第1ペアリフトB線、第1トリプルリフトC線、第1ペアリフトD線

第2クワッドリフト、第3ペアリフト、第3ペアリフトB線、

第5トリプルリフト、スーパークワッドリフト、第11トリプルリフトB線、

第12ペアリフト、第13リフト、第15トリプルリフト

1. 利用者の皆様へ

当スキー場では、初心者ボーダーレッスン、ツリーランコースの開設等重点に営業を行ってまいりました。

利用者の皆様には、事業にご理解を頂き、誠に有り難うございます。

当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解頂くために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

2. 基本方針と安全目標

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ取締役社長以下従業員に周知、徹底しております。

基本方針と安全目標は以下の通りです。

- (1) 社長及び役員は、索道施設及び職員を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針その他事業活動に関する基本的な方針を定め、安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めております。
- (2) 社長、役員及び職員等は、次に掲げる安全に係わる行動規範を理解し、輸送の安全確保に努めております。
 - ① 一致団結して輸送の安全に努めております。
 - ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（本規程を含む）を良く理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行することに努めております。
 - ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めております。
 - ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱に努めております。
 - ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとることに努めております。
 - ⑥ 情報は漏れなく迅速・正確に伝えることに努めております。
 - ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めることに努めております。

第1項の方針に基づき、策定した索道施設及び職員に係わる安全性向上の為の施策は、適宜見直すものとし、当該施設及びこれに基づく取り組みの実績その他安全に関する情報については、毎事業年度これを取り纏め、安全報告書として掲示公表することとしております。

安全目標

索道輸送安全目標は次表のとおりです。今年度も索道運転事故（人身傷害事故）の発生はなく、無事終了することができました。引き続き従業員一同、安全意識の向上を掲げ、目標達成に向けて取り組む所存です。

区分	項	内
定量的 な目標	索道運転事故	発生件数 0 をめざす

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故（索道人身障害）

令和元年度期、索道運転事故（索道人身障害事故）報告はありません。

(2) 災害

12月25日より3月31日まで小雪と新型コロナウイルスの影響が有りましたが、98日営業ができました。

(3) インシデント

令和元年度期、国土交通省へのインシデントの報告は有りません。

(4) 行政指導等

令和元年度期、国土交通省より行政指導等は有りません。

4. 輸送の安全確保のための取り組み

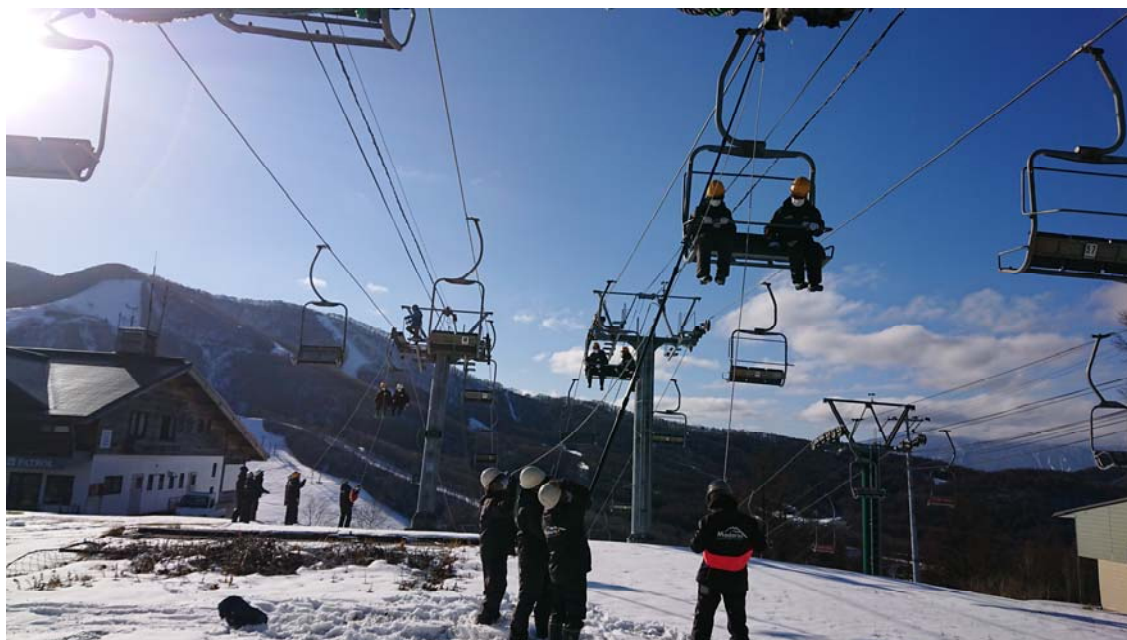
(1) 人材教育

当社では、シーズン開始前に、全従業員を対象に安全のための講習会を開催し、また毎日の朝礼を利用して細部に亘る教育を施すとともに、オフシーズンに関係機関等で開催される技術研修会に一部の従業員を積極的に参加させております。



(2) 緊急時対応訓練

当社では、緊急時に備え、シーズン開始前に全従業員を対象に救助訓練を実施すると共に、予備原動機の手扱訓練等も併せて実施し、緊急時に迅速な対応が出来るように努めております。



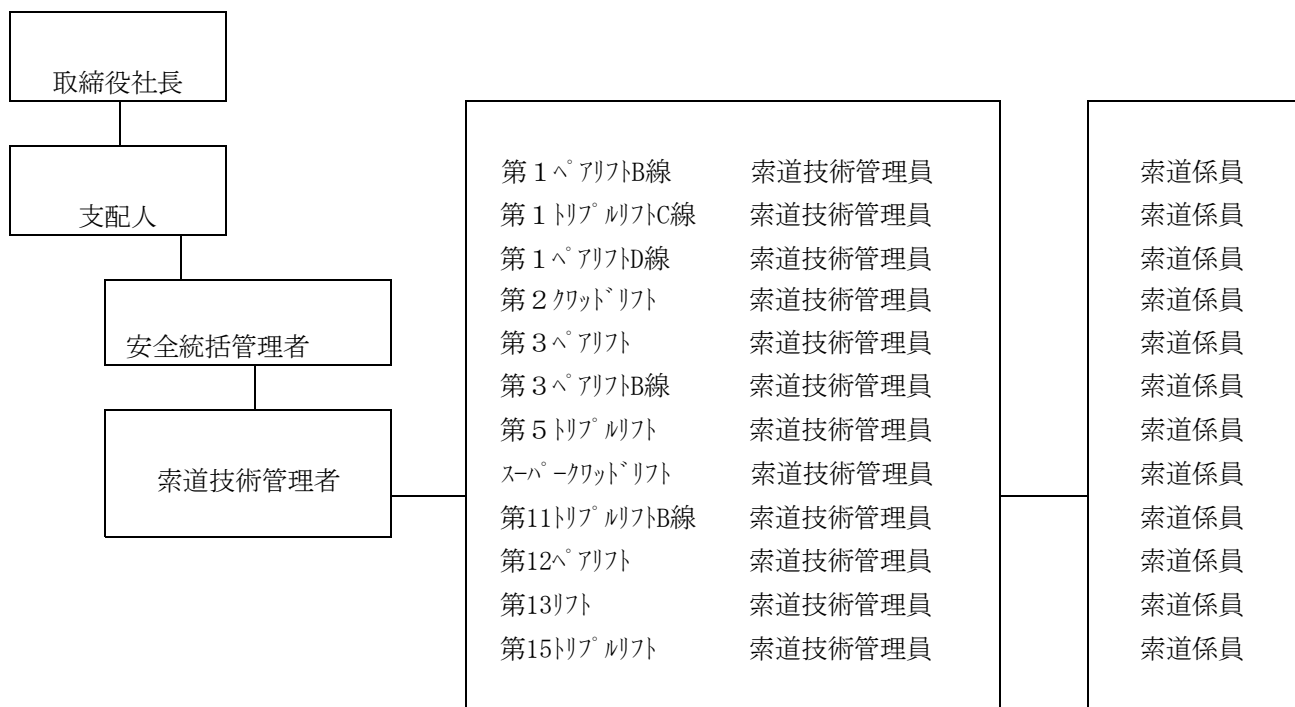
(3) 安全のための投資と支出

当社では、令和2年度期、主原動機OH（スーパークワッド）・支柱索受装置整備（2Q・スーパークワッド）・折返し滑車軸OH（2Q）・山麓場内押送装置整備（スーパークワッド）・折返し滑車ゴムライナー交換（11TB）・塗装（2Q山麓山頂・全支柱）・クワッドリフト場内調整整備・搬器フード整備等の主要機械の油脂関係交換・支柱索輪交換及び握索機その他設備の維持修繕に投資し、輸送の安全を図っております。

5. 当社の安全管理体制

取締役社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

株式会社 アビラ 斑尾高原スキー場 安全管理組織図



取締役社長： 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。

安全統括管理者： 索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。

索道技術管理者： 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。

索道技術管理員： 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助し、当概担当の索道の運行を管理する。

索道係員： 索道技術管理員の指揮の下、運転、整備、監視、乗客の各係の業務に従事。

6. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) 「お客様の声をかたちにしています」

スキー場内案内看板を英語表記を追加した看板に新調し外国人もわかりやすいスキー場に努めております。スキー場入り口（第1リフト降り場付近）にセパレートのネットをはり、スキーヤーとボーダーのコースを設置しお客様の利便に努めました。

(2) リフトご利用の際、お客様のご注意頂きたい事項（お願い）

- ① 乗り方、降り方に不慣れなお客様は、乗り場の係員へお申し出下さい。
- ② ペアリフト、3人乗りリフト等にお一人で乗車される際は、いす（搬器）の中央にご乗車下さい。また、乗車中は正しい姿勢でご乗車下さい。
- ③ 煙草の吸い殻、その他の物品をお持ちになって乗車される際は、途中で投げ捨てないでください。
- ④ いす（搬器）から飛び降りたり、揺らさないで下さい。大きな事故の原因となります。
- ⑤ 衣服、携帯品等、いす（搬器）等に巻き付かないようにご注意下さい。
- ⑥ 子供さんをお連れのお客様は、子供さんの乗車の姿勢にもお気を付け下さい。
- ⑦ 安全バーの有るリフトは、ご搭乗後必ずご使用下さい。また、安全バーは降り場に到着するまで、上げないようにして下さい。
- ⑧ 改札後は、係員の指示に従って下さい。

7. 連絡先

〒389-2257 長野県飯山市大字飯山 11492-321

株式会社 アビラ 斑尾高原スキー場 インフォメーション

TEL 0269-64-3214 / FAX 0269-64-3320

<http://www.madarao.jp/ski>